

●日本学術会議アドバイザー等について

〔平成23年9月1日〕
〔日本学術会議第133回幹事会決定〕

日本学術会議に以下のアドバイザーを置くことができる。

1. 日本学術会議アドバイザーについて

- (1) 会長又は副会長は、日本学術会議の活動に助言を行う者として、会員又は連携会員の中から、日本学術会議アドバイザーを会長に推薦することができる。ただし、特に必要と認められる場合には、会員又は連携会員以外の者で、優れた研究又は業績を有する者の中から日本学術会議アドバイザーを推薦することができる。なお、幹事会に提案する前に、本人の内諾を得ておくこと。
- (2) 会長は、推薦を踏まえて、幹事会の承認を得て、日本学術会議アドバイザーを委嘱する。
- (3) 会長が推薦する者は6名以内、副会長が推薦する者は9名以内とし、任期は委嘱をした期の期末を超えないものとする。

2. 日本学術会議外国人アドバイザーについて

- (1) 会長、副会長又は各部は、日本学術会議の審議に協力する者として、優れた研究又は業績を有する外国人を日本学術会議外国人アドバイザーとして会長に推薦することができる。ただし、国際会議等への代表派遣を目的とする外国人アドバイザーの推薦を行う際は、国際委員会による審査を経て、会長に推薦するものとする。なお、幹事会に提案する前に、本人の内諾を得ておくこと。
- (2) 会長は、推薦を踏まえて、幹事会の承認を得て、日本学術会議外国人アドバイザーを委嘱する。
- (3) 日本学術会議外国人アドバイザーは9人程度とし、任期は委嘱をした期の期末を超えないものとする。ただし、国際会議等への代表派遣を目的とする外国人アドバイザーの任期は、派遣準備から出張報告提出までの必要最小限の短期間に限定することとする。
- (4) なお、外国人アドバイザーについては、国際会議等に代表派遣される場合を除いて、当分の間、その任務に対する海外渡航旅費を支給しない。

3. 幹事会への出席について

日本学術会議アドバイザー及び日本学術会議外国人アドバイザーは、会長の求めに応じ

て幹事会に出席し、意見を述べることができる。

4. その他

日本学術会議アドバイザー又は日本学術会議外国人アドバイザーの推薦は、別紙様式により行うものとする。

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

附 則（平成26年9月19日日本学術会議第201回幹事会決定）

この決定は、決定の日から施行する。

附 則（平成26年12月26日日本学術会議第206回幹事会決定）

この決定は、決定の日から施行する。

附 則（平成28年6月24日日本学術会議第230回幹事会決定）

- 1 この決定は、決定の日から施行する。
- 2 現在、会長アドバイザーに指名されている者については、改正後の1の規定を満たしているため、日本学術会議アドバイザーとして承認されたものとみなす。

附 則（平成29年2月24日日本学術会議第242回幹事会決定）

この決定は、決定の日から施行する。

附 則（平成29年12月22日日本学術会議第258回幹事会決定）

この決定は、決定の日から施行する。

附 則（平成31年4月24日日本学術会議第277回幹事会決定）

この決定は、元号を改める政令（平成31年政令第143号）の施行の日から施行する。

(日 付)

日本学術会議会長
〇〇 〇〇 殿

〇〇 〇〇

以下のとおり、表2の者を日本学術会議アドバイザーまたは日本学術会議外国人アドバイザーの候補者として推薦します。

(表1) 参画する期間等

任 期	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
備 考	

注) 国際会議への代表派遣の場合は詳細について備考に記載。

(表2) 日本学術会議アドバイザーまたは日本学術会議外国人アドバイザー候補者

氏名	国籍	年齢	性別	現 職	専門分野

(表3) 選考要件についての説明

氏 名	理 由 説 明

注) (様式2) 日本学術会議アドバイザー等候補者推薦書も添付すること。

※国際会議への代表派遣の場合は表3の記入及び様式2の提出不要。

< 主要な職歴を現職から順に遡って7件以内で記入してください >

	年	月	職歴の内容
職歴 1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 6	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 7	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※西暦4桁（半角数字）※1~12の半角数字

現職名・名簿記載職名：

※こちらに記入した内容が、名簿記載上の職名になります。

< 専門分野（[科学研究費助成事業（科研費）]の細目名の中から相当する細目番号）を3件以内で入力してください >
 （細目番号は「科研費細目表」シート参照）

※科研費を受け取っていない場合でも、該当すると思われる専門分野を入力してください。

	<細目番号>	<細目名>	
専門分野(科研費細目名) 1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	※ #N/A と表示された場合は<細目番号>が誤りです
専門分野(科研費細目名) 2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	※ #N/A と表示された場合は<細目番号>が誤りです
専門分野(科研費細目名) 3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	※ #N/A と表示された場合は<細目番号>が誤りです

< 主要な研究内容を3件以内で記入してください >

研究内容 1：

研究内容 2：

研究内容 3：

< 所属している国内の学会の名前を3件以内で記入してください >

国内所属学会名 1：

国内所属学会名 2：

国内所属学会名 3：

< 所属している海外の学会の名前を3件以内で記入してください >

国際所属学会名 1：

国際所属学会名 2：

国際所属学会名 3：

< 主要な学術論文、著書、特許等の学術的業績を5件以内で記入してください >

業績 1： ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名：

標題、書名又は産業財産権の名称：

雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等：

発行年、開催年又は取得年： ※西暦4桁（半角数字）

業績 2： ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名：

標題、書名又は産業財産権の名称：

雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等：

発行年、開催年又は取得年： ※西暦4桁（半角数字）

業績 3: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。
 ▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年: ※西暦4桁 (半角数字)

業績 4: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。
 ▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年: ※西暦4桁 (半角数字)

業績 5: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。
 ▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年: ※西暦4桁 (半角数字)

< 主要な受賞歴を 3 件以内で記入してください >

	受賞年	賞名	授賞機関
受賞歴 1:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
受賞歴 2:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
受賞歴 3:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※西暦4桁 (半角数字)

★候補者は、入力漏れなどが無い内容をご確認の上、このファイルを保存して、推薦者に返送してください。

★推薦者は、候補者から返送されたファイルをご確認の上、日本学術会議事務局企画課審査係まで送付してください。